

令和 8 年度

設 計 書 (実 施)

事 業 名 公共下水道整備事業

工 事 名 下水道工事 (第2工区)

施 工 箇 所 菫崎市藤井町駒井 地内

特記仕様書

第1条 適用範囲

この仕様書は、韮崎市下水道事業が発注する下水道工事（第2工区）に適用する。これに定めのない事項については、山梨県土木工事共通仕様書によるものとする。

第2条 建設リサイクル法対象建設工事の届出に係る事項の説明

建設リサイクル法の対象工事（請負金額が500万円以上）の場合、落札者は建設リサイクル法第12条に基づき、落札後配付される書面により契約事務担当者に、契約前に説明を行うこととする。

第3条 法定外の労災保険の付保について

本工事においては、請負者は法定外の労災保険に付保しなければならない。

第4条 工事实績情報サービス（コリンズ）への登録について

請負金額500万円以上の工事においては、契約日、変更契約日及び工事完成日から土日、祝日を除き10日以内に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受け、(財)日本建設情報センターに登録した「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出すること。また、変更契約を締結した場合など、契約内容や配置技術者の変更があった時には、監督員の確認を受け、変更の登録をすること。工事が完成した時は、監督員の確認を受け、竣工の登録をすること。

第5条 施工計画書の作成及び提出

請負者は工事負担金額が1,000万円以上の工事については、工事着手前に本工事に即した施工計画書を監督員に提出し、承諾を得ること。ただし、工事負担金額が1,000万円未満の工事についても監督員が指示する場合は、提出しなければならない。なお、特殊な工法等ある場合は、それぞれの工法について施工方法、工程、段取り、確認項目、管理基準等を明確に記した仕様書を必ず添付すること。

第6条 下請負届

本工事を施工するために締結した下請負契約については、本工事の適正な施工を確保するため、下請負人の商号又は名称、当該下請負人に係る建設工事の内容及び工期その他の国土交通省令で定める事項を記載した施工体制台帳を作成し、現場ごとに備え置くこと。また、本工事における各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、これを当該工事現場の見やすい場所に掲げること。施工体系台帳及び施工体系図については、作成及び更新の度、作成し監督員にその写しを提出すること。

さらに、請負者は韮崎市建設工事等執行規則の定めるところにより、下請負届を韮崎市下水道事業に提出し承認を受けなければならない。

第7条 照査

請負者は、工事受注後速やかに本工事内容を照査し、設計書及び内容等の確認を行い、工事打合簿により監督員に報告すること。

第8条 起工測量

請負者は施工に先立ち、現地において起工測量を行い、その成果を工事打合簿により必ず提出すること。なお、既設構造物等が施工区間に接する場合は、これらとの関係を調べ、同様に工事打合簿にまとめ提出すること。

第9条 交通止に関する協議

工事の施工にあたっては、必要に応じ所轄警察署と協議をし、「道路工事交通保安施設設置基準」（山梨県県土整備部）に基づき、市役所及び地元との協議を事前に行い、適切な交通管理を行うものとする。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議するものとする。また、道路使用許可が必要な場合は、事前に監督員に道路使用協議書の作成を依頼すること。

第10条 週休2日適用工事について

本工事は、週休2日適用工事として4週8休以上の現場閉所を実施することとする。取り扱いについては、令和7年5月1日から適用する「週休2日適用工事实施要領」及び「週休2日適用工事に要する費用の計上について」による。週休2日は、月単位の週休2日により取り組むこととし、施工計画書により提出すること。また、最終の現場閉所後速やかに本工事の取組実績について、「週休2日制現場閉所（計画・実績）書」及び「現場閉所実績集計表」にて報告を行うものとする。

第11条 事前協議

着工前には、監督員・請負者及び他工事の請負者、関係者及び関係機関と事前協議を行い、工程並びに安全管理等の打ち合わせを行うこと。また、毎月関係者と同様の工程会議を行うこと。

なお、別途工事との関連により工程上の制約を受ける場合及び本工事の施工にあたり関係機関等から施工に関する条件等（時間的制約を含む）を付された場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

第12条 既存建造物等の確認

建造物等の近接工事を行なう場合には、工事着工前及び完成後に必ず所有者立会の上確認を行なうと同時に、証拠写真を撮り、工事打合簿にて監督員に提出すること。

また、井戸水の使用の有無を確認し、工事着工前及び完成後に必ず所有者立会の上、水位等の確認を行い、対応すること。

なお、これらに関する測定、調査記録等は各自整理保存しておくこと。

第13条 公共汚水柵の設置について

汚水柵設置箇所については、土地所有者または権利者の立会の上、現場説明を行い、承諾を得た上で決定すること。その際、写真撮影するとともに、図面および承諾書に署名捺印をもらい工事打合簿により工事着工前に提出すること。なお、所有者等が明確でなく現場説明及び承諾書の作成が困難な場合は、監督員と協議すること。

第14条 境界の確認

工事着手前に、民有地との境界確認が必要な箇所については地権者立合いのもと丁張り等により境界を明確にしておきトラブルの無いよう注意すること。

第15条 埋蔵文化財について

埋蔵文化財の該当する場所については、市教育課の試掘の立会に協力すること。

第16条 舗装版切断時に発生する濁水処理

舗装版切断時に発生する濁水は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、原則として収集し処分業の許可を取得している中間処理施設等へ運搬し処分するものとする。また、産業廃棄物管理表（マニフェスト）により適正に処理し、監督員に提示するものとする。

また、現場条件等により濁水の収集が困難な場合は、監督員と協議するものとする。

第17条 埋設物

想定外の構造物が出現した場合、寸法・延長・総取壊し量を写真・図面をもって工事打合簿にて監督員に報告すること。また、工事に支障のある場合は、施工方法・工程等について監督員と協議してその対処方法を決定するものとする。

第18条 工事現場管理

工事の機材等については、工事中及び作業終了後の管理を徹底し、通行人等が支障を感じないように常に整理しておかなくてはならない。特に、作業終了後は指定の保管場所に保管し、第三者の関与の無いように管理すること。

また、過積載車、さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込ませないこと。

第19条 交通及び保安施設

工事区間内の交通に関しては、道路の使用許可条件を遵守し、危険防止柵を設置し、必要に応じて保安用の夜間照明設備を設置するなど十分な危険防止対策を施すこと。

また、工事区間内での車両の運行及び歩行者の通行に関しては、必要に応じて専任の交通整理員を設置し、通行の誘導、路面の補修に努めるなど、交通及び保安上十分な措置を講ずるものとする。

第20条 段階確認

1. 段階確認の計画書作成

工事着手前には、段階確認事項を確認、整理し、段階確認予定時期を記した段階確認工程表を作成し、施工計画書に含めて提出しなければならない。

2. 社内検査の実施

段階確認を受ける前には必ず社内検査を実施し、設計図書通り施工がなされているか事前確認すること。また、検査結果を整理し、監督員から指示があった場合は提示しなければならない。

3. 段階確認時の注意事項

段階確認においては、検査（確認）部分の出来形が確認できる資料を事前に作成し、監督員に提出すること。

第21条 安全訓練等の実施

工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について、工事着手後原則として作業員全員参加により月に半日以上時間を割り当て、安全訓練等を実施すること。また、安全訓練等の実施状況をビデオ又は工事報告（工事月報）に記録し、工事完成検査時に書類とともに報告すること。なお、工事期間中であっても監督員が実施状況の確認を必要とする場合は、速やかに中間報告をすること。

第22条 再生資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出

本工事は、建設副産物実態調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（EXCEL 様式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部（紙）を施工計画書に、または施工計画書が必要ない案件は協議書に添付し監督員に提出するものとする。（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可）

工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書を出し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD-R）により監督員に提出するものとする。

なお、入力した工事データは自社で1年間保管するものとする。

※入力時最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

この特記事項は、『土木工事共通仕様書 第1編 共通編 第1章 総則 1-1-1-18 建設副産物 第5項及び第6項』、『建設副産物処理基準 [5] 再生資源利用促進（計画・実施）書の提出』および、『再生資源利用基準 [7] 再生資源利用（計画・実施）書の提出』に代わるものとする。

第23条 埋戻し

埋戻し土に現場発生土を使用する場合は、密度試験等を行い、監督員に試験結果を提出し承諾を得てから使用すること。また、管上30cmから路床面までの埋戻しは、現場発生良質土とし、20cmごとに転圧を行い、埋め戻し後の沈下の起こらないように入念に行うこと。

路床の完成時に500m³に1箇所の割合（但し、1,500m³未満は最低3箇所）で試験を行い、密度が90パーセント以上となることを確認すること。

第24条 建設発生土の処理

建設工事の施工における建設発生土は、指定処分Aとし以下の場所に搬出すること。

① 工事名 : 「(仮称) 山梨西部広域環境組合新ごみ処理施設整備に伴う造成工事」

② 搬入場所 : 山梨県中央市浅利 230-3

③ 運搬距離 : L = 23.8 km (D I D 区間なし)

④ その他条件 : 搬入する建設発生土の土質性状にかかわる次の調査・試験を1現場につき1回行う。

(調査・試験項目)

- ・粒度試験
- ・土の締固め試験
- ・締固めた土のコーン指数試験

その他の調査・試験等については、甲乙協議によるものとする。

請負者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員へ、受領書を提出しなければならない。監督員は、受領書により最終的な処理の確認を行う。

第 25 条 他市町村への建設発生土の搬出

請負者は本工事における建設発生土を、指定地の市町村および他の市町村へ 100 m³以上搬出する場合について、所定の様式により搬出前に建設発生土に関する下記の情報を搬出先市町村の建設発生土担当窓口あてに提出しなければならない。なお、情報提出後速やかにその写しを監督員に提出しなければならない。また、搬出先市町村担当窓口については、監督員に問い合わせること。

1. 工事件名、工事概要、工事場所
2. 工事発注機関名、工事発注機関監督員名、連絡先
3. 工事請負業者名、現場代理人名、連絡先
4. 建設発生土の運搬業者名
5. 建設発生土の受入先名（搬出先事業所名等）、住所
6. 建設発生土の発注場所から受入地までの運搬経路
7. 建設発生土の搬出時期（搬出時期）
8. 建設発生土の土質（砂、ローム等）、土質（m³）

第 26 条 再生資材の利用

本工事においてアスファルト混合物及び砕石（クラッシャーラン）を使用するときは、再生資材を利用すること。

第 27 条 溶融スラグを利用した建設資材の優先使用について

請負者は「溶融スラグ有効利用ガイドライン」（最新版）に基づく溶融スラグを利用した建設資材（積みブロック、密粒度アスファルト混合物、下層路盤材）については、優先使用に努めるものとする。

第 28 条 再生資材及び建設廃棄物の適正処理

本工事により発生するコンクリート塊、アスファルト塊等の建設廃棄物は、「廃棄物処理法」及び「建設副産物処理基準」に基づき、該当廃棄物の処分業の許可を取得している再生資源化施設へ搬出し適正に処分すること。但し、やむを得ない事情により再生資源化施設への運搬が困難な場合は、監督員と相談の上、処理方法を決定するものとする。

第 29 条 排出ガス対策型建設機械について

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(最新版)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械又は建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」における開発目標を満たす事が確認された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用するものとする。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、設計変更するものとする。また、排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、施工現場において使用する機械の写真撮影を行い監督員に通知するものとする。なお、指定機械であることを識別するラベルが確認できるように撮影すること。

機種	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・ホイールローダ ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット(以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの:油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機) ・ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ) ・ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型 	<p>ディーゼルエンジン(エンジン出力 7.5kw以上 272kw 以下)を搭載した建設機械。</p>

第 30 条 高度技術及び創意工夫

請負者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目または地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時まで所定の様式により提出することができる。

第 31 条 電子納品について

本工事の竣工書類の一部(工事写真)は、通常の紙媒体書類での提出もしくは電子データにて提出することを、監督員と協議したうえでどちらか選択し、納品することができる。また、納品する電子データについては、「山梨県県土整備部 電子納品要領」(以下、「要領」という)及び「山梨県県土整備部 電子納品運用マニュアル」(以下、「運用マニュアル」という)に従い作成する。

第 32 条 交通誘導員

工事の施工にあたっては、「道路工事交通保安施設設置基準」(山梨県県土整備部)を遵守し、適切な交通管理を行うものとする。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議す

るものとする。

1. 交通整理の時間帯 昼間 9 : 00 ~ 17 : 00 (交代要員なし)
2. 交通整理期間は、概ね開削時昼間 8 日間とするが、配置人員は最低 2 名以上とする。
施工条件 (警察との協議含む) に変更が生じた場合は監督員と協議するものとする。

第 33 条 その他

その他、疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

見 積 参 考 資 料 (当初)

所長 次長(事) 次長(技) 管理幹 審査幹 課長 リーダー 検算者 設計者			
工 事 名	下水道工事 (第2工区)		
		建設リサイクル法	対象工事
工 事 場 所	韭崎市藤井町駒井 地内		
河川名、路線名等			
事 業 名	下水道事業		
設計請負工事費 (消費税込み)		変更による増減額	
設計工事価格 (消費税抜き)		変更による増減額	
請負工事費 (消費税込み)		変更による増減額	
工事価格 (消費税抜き)		変更による増減額	
最終請負工事費 (消費税込み)		単品スライド適用 による増減額	
最終請負工事費 計 算 式			

工 事 概 要	<認可・実施>			
	施工延長 L=28.0m 管布設工 (φ200) L=27.4m、小型マンホール工 1箇所 汚水樹設置工 3箇所 アスファルト舗装 (4-11-18) 不陸整正工A=108㎡ 上層・下層路盤工A=58㎡ 表層工A=167㎡ 区画線 1式			
施 工 理 由 又 は 変 更 理 由	<実施・変更>			
単 価 地 区				
適 用 年 版				
適 用 工 種				
施工地域区分			Co運搬+小型車 運搬加算額	
冬 期 係 数		熱中症補正 対象工期期間		真夏日日数
工 期 着 手			完 成	
積雪寒冷地等級			3次元出来形 管理等の補正	
週休2日補正				
事 務 所 名	(07) 蕪崎市			
課 名	(07)			
備 考				

本工事費内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事 (単独)					
管路		1 式			
管きょ工 (開削)		1 式			
管路土工		1 式			
管路掘削	80	m 3			第0001号工種明細書
発生土埋戻	40	m 3			第0002号工種明細書
土砂等運搬 (発生土仮置場積込運搬)	40	m 3			第0003号工種明細書
土砂等運搬	30	m 3			第0004号工種明細書
管布設工		1 式			
硬質塩化ビニル管布設 (φ200)	28	m			第0005号工種明細書
管基礎工		1 式			
砂基礎 (10m3以上・埋め戻し用砂)	20	m 3			第0006号工種明細書

＊ ＊本工事費内訳書＊ ＊

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路土留工		1 式			
建て込み簡易土留 (2.5m)	28	m			第0007号工種明細書
建て込み簡易土留賃料	1	式			第0008号工種明細書
マンホール工		1 式			
組立マンホール工		1 式			
組立1号マンホール(底部工・インパートのみ)	1	箇所			第0009号工種明細書
組立1号マンホール資材	1	式			第0010号工種明細書
削孔工 (1号マンホール・塩ビ管・φ200)	1	孔			第0011号工種明細書
小型マンホール工		1 式			
小型マンホール・T14・H=3.5m以下・5箇所未満	1	箇所			第0012号工種明細書
取付管およびます工		1 式			
管路土工		1 式			

＊ ＊ 本工事費内訳書 ＊ ＊

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路掘削	9	m 3			第0013号工種明細書
砂基礎 (10m3以上・埋め戻し用砂)	3	m 3			第0014号工種明細書
発生土埋戻	3	m 3			第0015号工種明細書
土砂等運搬	5	m 3			第0016号工種明細書
ます設置工		1 式			
汚水柵・φ200・5箇所未満・鋳鉄製蓋T-8	3	箇所			第0017号工種明細書
取付管布設工		1 式			
取付管(φ150・5箇所未満)3～5m	3	箇所			第0018号工種明細書
付帯工		1 式			
舗装撤去工		1 式			
舗装版破砕(As版・15cm以下)	140	m 2			第0019号工種明細書
舗装版切断(As・t≦15cm)	68	m			第0020号工種明細書

※※本工事費内訳書※※

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬	5.6	m ³			第0021号工種明細書
殻処分 (A s 殻)	5.6	m ³			第0022号工種明細書
濁水運搬処理	1	式			第0023号工種明細書
舗装復旧工 (アスファルト舗装)		1式			
下層路盤 (RC40-0・厚さ180mm) 車道	58	m ²			第0024号工種明細書
上層路盤 (粒調碎石・厚さ110mm)	58	m ²			第0025号工種明細書
表層 (再生As・t=40mm)	167	m ²			第0026号工種明細書
不陸整正	108	m ²			第0027号工種明細書
溶融式区画線 (文字、W=15cm換算、白色)	7.9	m			第0028号工種明細書
溶融式区画線 (実線、W=45cm、白色)	2.2	m			第0029号工種明細書
取合せ工 (水替工等)		1式			
開削水替	1	式			第0030号工種明細書

本工事費内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工		1 式			
交通管理工		1 式			
交通誘導警備員		人			第0031号工種明細書
直接工事費					
共通仮設費(率分)		1 式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費		1 式			
工事原価					
一般管理費等		1 式			
契約保証費		1 式			
一般管理費等計					

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路掘削 Y103W2DV51I					第0001号工種明細書
機械掘削工 (バックホウ) [下水道]	1	m ³			第0-0001号施工単価表
計	1	m ³			

発生土埋戻 Y000220B5F2					第0002号工種明細書
機械投入埋戻工 (バックホウ) [下水道] 現場発生土 砂質土 (普通土)	1	m ³			第0-0003号施工単価表
計	1	m ³			

土砂等運搬 (発生土仮置場積込運搬) Y0000200A01					第0003号工種明細書
発生土運搬工 運搬距離0.5km DID地区なし	1	m ³			第0-0005号施工単価表
掘削 土砂 オープンカット	1	m ³			第0-0007号施工単価表
計	1	m ³			

土砂等運搬 Y0000200A01					第0004号工種明細書
土砂等運搬 標準 バックホ	1	m ³			第0-0008号施工単価表

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計	1	m ³			

硬質塩化ビニル管布設 (φ200) Y103W2DW4T8					第0005号工種明細書
硬質塩化ビニル管設置工[市場単価] 呼び径200mm	1	m			第0-0009号施工単価表
計	1	m			

砂基礎 (10m³以上・埋め戻し用砂) Y103W2DX51X					第0006号工種明細書
砂基礎工(機械施工)[市場単価]	1	m ³			第0-0010号施工単価表
計	1	m ³			

建て込み簡易土留 (2.5m) Y103W2E052D					第0007号工種明細書
たて込み簡易土留材建込工(両側分) 掘削深 2.5m以下	1	m			第0-0011号施工単価表
たて込み簡易土留材引抜工(両側分) 掘削深 2.5m以下	1	m			第0-0013号施工単価表
計	1	m			

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建て込み簡易土留賃料 Y103W2E052D					第0008号工種明細書
たて込み簡易土留賃料 (単独)	1	式			
計	1	式			

組立:1号マンホール(底部工・インバートのみ) Y10402FX5AF					第0009号工種明細書
底部工(組立式)[下水道]	1	箇所			第0-0014号施工単価表
計	1	箇所			

組立:1号マンホール資材 Y10402FX5AF					第0010号工種明細書
マンホール用可とう継手φ200	1	個			
計	1	式			

削孔工 (1号マンホール・塩ビ管・φ200) Y10402FX5AF					第0011号工種明細書
0号、1号用 (I種) 塩ビ管 200mm φ252	1	箇所			
計	1	孔			

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型マンホール・T14・H=3.5m以下・5箇所未満 Y10402FY546					第0012号工種明細書
小型マンホール工(塩化ビニル製)市場単価[下水道] 径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径200mm	1	箇所			第0-0017号施工単価表
計	1	箇所			

管路掘削 Y103W2DV511					第0013号工種明細書
機械掘削工(バックホウ)[下水道]	1	m ³			第0-0001号施工単価表
計	1	m ³			

砂基礎(10m³以上・埋め戻し用砂) Y103W2DX51X					第0014号工種明細書
砂基礎工(機械施工)[市場単価]	1	m ³			第0-0010号施工単価表
計	1	m ³			

発生土埋戻 Y000220B5F2					第0015号工種明細書
機械投入埋戻工(バックホウ)[下水道] 現場発生土 砂質土(普通土)	1	m ³			第0-0003号施工単価表
計	1	m ³			

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬 Y0000200A01					第0016号工種明細書
発生土運搬工 運搬距離20km DID地区なし	1	m ³			第0-0018号施工単価表
計	1	m ³			

汚水枿・φ200・5箇所未満・鋳鉄製蓋T-8 Y08030145					第0017号工種明細書
ます設置工(塩化ビニル製)市場単価 ます径 200mm	1	箇所			第0-0019号施工単価表
鋳鉄製防護蓋(200用) 宅内枿用T-8(台座含)袋穴式 みかけ蓋分控除	1	個			
計	1	箇所			

取付管(φ150・5箇所未満)3~5m Y10422EX54I					第0018号工種明細書
取付管布設および支管取付工[市場単価] 管径 150mm	1	箇所			第0-0020号施工単価表
計	1	箇所			

舗装版破碎(As版・15cm以下) Y000921DA6G					第0019号工種明細書
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1	m ²			第0-0021号施工単価表

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計	1	m ²			

舗装版切断(As・t≤15cm) Y000921DA6E					第0020号工種明細書
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1	m			第0-0022号施工単価表
計	1	m			

殻運搬 Y0001207A0K					第0021号工種明細書
発生土運搬工 運搬距離4km DID地区なし	1	m ³			第0-0023号施工単価表
計	1	m ³			

殻処分 (As殻) Y00092H0A0L					第0022号工種明細書
処分費 As塊	1	m ³			
計	1	m ³			

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
濁水運搬処理 Y103X2EE531					第0023号工種明細書
トラック2t積による公園外への運搬	1	台			第0-0024号施工単価表
建設汚泥処分費 舗装濁水 (アスファルト舗装切断)	0.06	m ³			
計	1	式			

下層路盤 (RC40-0・厚さ180mm) Y10432F2438					第0024号工種明細書
下層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚180mm 1層施工	1	m ²			第0-0026号施工単価表
計	1	m ²			

上層路盤 (粒調碎石・厚さ110mm) Y10432F2439					第0025号工種明細書
上層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚110mm	1	m ²			第0-0027号施工単価表
計	1	m ²			

表層 (再生As・t=40mm) Y10432F243B					第0026号工種明細書
表層 (車道・路肩部) 3.0m超 平均仕上り厚40mm	1	m ²			第0-0028号施工単価表

工 種 明 細 書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
計	1	m ²			

不陸整正 Y10432F2437					第0027号工種明細書
不陸整正 補足材料なし	1	m ²			第0-0029号施工単価表
計	1	m ²			

溶融式区画線（文字、W=15cm換算、白色） Y000821A43T					第0028号工種明細書
区画線設置 溶融式（手動） 矢印・記号・文字 15cm換算	1	m			第0-0030号施工単価表
計	1	m			

溶融式区画線（実線、W=45cm、白色） Y000821A43T					第0029号工種明細書
区画線設置 溶融式（手動） 実線 45cm	1	m			第0-0031号施工単価表
計	1	m			

施 工 単 価 表

頁0-0016

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械掘削工 (バックホウ) [下水道] SK005	100	m ³			第0 -0001号施工
土木一般世話役		人			RA125
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準		時間			SX040 第0-0002号施工単価表
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
計	100	m ³			
小計	1	m ³			
A バックホウ規格 B 豪雪割増	=1 =1	豪雪割増 工種条件と同じ			

バックホウ運転 SX040 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準	1	時間			第0 -0002号施工
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次		時間			MA181
運転手 (特殊)		人			RA070
軽油 パトロール給油		L			TSX24

施 工 単 価 表

頁0-0017

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	時間			
A 規格 B 機種 C 岩石割増 D 供用日当運転時間 (標準=省略) E 豪雪割増	=1 =2 =1 =0 =1	クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準 岩石割増なし 供用日当運転時間 (標準=省略) 豪雪割増 工種条件と同じ			
F 特殊運転手 (人/h) 標準=省略 G 軽油 (L/h) 標準=省略	=0.17 =5.9	特殊運転手 (人/h) 標準=省略 軽油 (L/h) 標準=省略			

機械投入埋戻工 (バックホウ) [下水道] SK025 現場発生土 砂質土 (普通土)					第0-0003号施工
	100	m ³			
土木一般世話役		人			RA125
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準		時間			SX040 第0-0002号施工単価表
タンバ締め	100.000	m ³			SZA185 第0-0004号施工単価表
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
計	100	m ³			
小計	1	m ³			

施 工 単 価 表

当り

機械構成比： 代表機 材規格	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	備考
SZA185 タンパ締固め					第0-0004号施工単価 m3 当り
機械構成比： 労務構成比：		材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	
タンパ (ランマ) 賃料			タンパ (ランマ) 賃料		KQ632
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
ガソリン レギュラー (スタンド)			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
積算単価			積算単価		EP001
小計					
A 費用の内訳	=1	全ての費用			

施 工 単 価 表

頁0-0020

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬工 SK035 運搬距離0.5km DID地区なし	10	m ³			第0-0005号施工
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル		日			SX110 第0-0006号施工単価表
計	10	m ³			
小計	1	m ³			
A ダンプトラック規格 B 積込機種 C 運搬状況による区分 D 運搬距離 (km) E タイヤ損耗費区分 (運搬路面状況)	=2 =3 =1 =0.5 =1	DID地区なし 運搬距離 (km) 運搬路面状況 良好			
F 豪雪割増	=1	豪雪割増	工種条件と同じ		

ダンプトラック運転 SX110 オンロード・ディーゼル	1	日			第0-0006号施工
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		供用日			MA402
運転手 (一般)		人			RA075
軽油 パトロール給油		L			TSX24
タイヤ損耗費 ダンプトラック		供用日			KP110
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99

施工単価表

当り

機械構成比：	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	備考
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格 (東京地区)	単価(東京地区)	
SZA101 掘削 土砂 機械構成比： 労務構成比： オープンカット					第0 -0007号施工単価 m 3 当り
バックホウ (クローラ型) [標準型] 超低騒音・排ガス3次			バックホウ (クローラ型) [標準型] 超低騒音・排ガス3次		MA234
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
軽油 バトロール給油			軽油 バトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					
A 土質 B 施工方法 C 押土の有無 D 障害の有無 E 施工数量 I 豪雪割増	=1 =1 =2 =1 =3 =1	土砂 オープンカット 押土なし 障害なし 5,000m3未満 豪雪割増	工種条件と同じ		

SZA105 土砂等運搬 標準 機械構成比： 労務構成比： バックホウ					第0 -0008号施工単価 m 3 当り
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油 バトロール給油			軽油 バトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管設置工[市場単価] SK980 呼び径200mm	1	m			第0 -0009号施工
硬質塩化ビニル管設置工 管径200mm	1.000	m			RN304
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	m			
A 規格・仕様 B 施工規模 C 時間的制約の有無 (B=1時選択) D 夜間作業の有無	=2 =1 =1 =1	呼び径200mm 施工規模 20m以上 時間的制約なし 夜間作業 (20時~6時) なし			

砂基礎工 (機械施工) [市場単価] SK985	1	m ³			第0 -0010号施工
砂	1.263	m ³			TCE32
砂基礎設置【手間のみ】 機械施工 手間のみ	1.000	m ³			RN504
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	m ³			
A 施工規模 C 夜間作業の有無 D 砂計上の有無 E 砂の種類 (D=1時選択) G 砂単価 (円/m ³) E=1時	=2 =1 =1 =1 =	施工規模 10m ³ 未満 夜間作業 (20時~6時) なし 砂計上あり 砂 砂単価 (円/m ³) E=1時			

施 工 単 価 表

頁0-0025

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留材建込工 (両側分) SK070 掘削深 2.5m以下	10	m			第0-0011号施工
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準		時間			SX040 第0-0012号施工単価表
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
計	10	m			
小計	1	m			
A 作業区分 B 掘削深 D 豪雪割増	=1 =3 =1	建込み 掘削深 2.5m以下 豪雪割増 工種条件と同じ			

バックホウ運転 SX040 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準	1	時間			第0-0012号施工
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排出ガス2次		時間			MA181
運転手 (特殊)		人			RA070

施 工 単 価 表

頁0-0026

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 パトロール給油		L			TSX24
諸雑費（まるめ）	1	式			#99
小計	1	時間			
A 規格 B 機種 C 岩石割増 D 供用日当運転時間（標準＝省略） E 豪雪割増	=1 =2 =1 =0 =1	クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準 岩石割増なし 供用日当運転時間（標準＝省略） 豪雪割増 工種条件と同じ			
F 特殊運転手（人／h）標準＝省略 G 軽油（L／h）標準＝省略	=0 =0	特殊運転手（人／h）標準＝省略 軽油（L／h）標準＝省略			

たて込み簡易土留材引抜工（両側分） SK070 掘削深 2.5m以下	10	m			第0-0013号施工
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
トラックレン[チタジブ型・油圧伸縮ジブ型]賃料		日			KQ305
諸雑費（まるめ）	1	式			#99
計	10	m			

施 工 単 価 表

頁0-0027

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小計	1	m			
A 作業区分 B 掘削深 C クレーン賃料補正係数 (標準=省略) D 豪雪割増	=2 =3 =0 =1	引抜き 掘削深 2.5m以下 クレーン賃料補正係数 (標準=省略) 豪雪割増 工種条件と同じ			

底部工(組立式)[下水道] S1652	1	箇所			第0-0014号施工
再生クラッシャーラン (40-0) RC-40	0.000	m ³			TCF04
コンクリート 小型構造物 人力打設	0.160	m ³			SZB401 第0-0015号施工単価表
モルタル上塗り 混合比 1:2	0.740	m ²			SK141 第0-0016号施工単価表
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	箇所			
A 砕石基礎の数量 (m ² /箇所) B 砕石種類 C 砕石の厚さ (cm) D インパットコンクリートの数量 (m ³) E 生コンクリートの規格	=0 =3 =0 =0.16 =5	砕石基礎の数量 (m ² /箇所) 再生クラッシャーラン(40-0) 砕石の厚さ (cm) インパットコンクリートの数量 (m ³) 18-8-40BB			
F 養生工の種類 G 小運搬作業の有無 H コンクリート夜間割増の有無 J コンクリート割増率 L モルタルの数量 (m ²)	=1 =1 =1 =1 =0.74	一般養生 無 無 標準 モルタルの数量 (m ²)			
M セメントの種類	=2	高炉B			

施工単価表

当り

機械構成比：	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	備考
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格 (東京地区)	単価(東京地区)	
SZB401 小型構造物 機械構成比：	コンクリート 労務構成比：	打設 材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	第0-0015号施工単価 m ³ 当り
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
特殊作業員			特殊作業員		RA005
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート 18-8-40BB 18-8-40BB			生コンクリート 24-12-25 (20) 高炉W/C 55%		TC534
積算単価			積算単価		EP001
小計					
A 構造物種別	=2	小型構造物			
B 打設工法	=4	人力打設			
E 養生工の種類	=2	一般養生			
G 現場内小運搬の有無	=2	現場内小運搬なし			
K コンクリートセメント種類	=2	高炉			
L コンクリート規格	=5	18-8-40BB			
O 豪雪割増	=1	豪雪割増	工種条件と同じ		
P 費用の内訳	=1	全ての費用			

施 工 単 価 表

頁0-0029

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル上塗り SK141 混合比 1 : 2	1	m ²			第0 -0016号施工
左官		人			RA175
普通作業員		人			RA010
モルタル練 (配合 1 : 2) 別途計上	0.000				
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	m ²			
A 混合比	=1	混合比 1 : 2			

小型マンホール工 (塩化ビニル製) 市場単価 [下水道] SK996 径 300mm 起点および中間形式 深さ 2m以下 本管径 200mm	1	箇所			第0 -0017号施工
小型マンホール工 (塩化ビニル製 φ300) 深 2m以下 本管径 150・200	1.000	箇所			RN202
小型マンホール工 加算額【手間のみ】 鋳鉄製防護蓋設置費	1.000	箇所			RN242
蓋材料費	1.000	箇所			T9000010010
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99

施 工 単 価 表

頁0-0030

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小計	1	箇所			
A 規格 B 仕様 C 施工規模 E 夜間作業の有無 F 起点落差形式設置の有無	=1 =2 =2 =1 =1	径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径200mm 施工規模 5箇所未満 夜間作業(20時~6時)なし 起点落差形式設置なし			
G 鋳鉄製防護蓋設置(手間のみ)の有無	=2	鋳鉄製防護蓋設置(手間のみ)あり			

発生土運搬工 SK035 運搬距離20km DID地区なし	10	m ³			第0-0018号施工
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル		日			SX110 第0-0006号施工単価表
計	10	m ³			
小計	1	m ³			
A ダンプトラック規格 B 積込機種 C 運搬状況による区分 D 運搬距離(km) E タイヤ損耗費区分(運搬路面状況)	=2 =3 =1 =20 =1	DID地区なし 運搬距離(km) 運搬路面状況 良好			
F 豪雪割増	=1	豪雪割増 工種条件と同じ			

ます設置工(塩化ビニル製) 市場単価 SK990 ます径 200mm	1	箇所			第0-0019号施工
ます設置工(塩化ビニル製) ます径200mm	1.000	箇所			RN004

施 工 単 価 表

頁0-0031

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ます設置工 加算額【手間のみ】 鋳鉄製防護蓋設置費	1.000	箇所			RN022
諸雑費（まるめ）	1	式			#99
小計	1	箇所			
A 規格・仕様 B 施工規模 D 夜間作業の有無 E 鋳鉄製防護蓋設置（手間のみ）の有無	=2 =2 =1 =2	ます径 200mm 施工規模 5箇所未満 夜間作業（20時～6時）なし 鋳鉄製防護蓋設置（手間のみ）あり			

取付管布設および支管取付工[市場単価] SK992 管径 150mm					第0-0020号施工
取付管布設および支管取付工 管径150mm	1	箇所			RN036
取付管布設および支管取付工 加算額 可とう性支管設置費 管径150	1.000	箇所			RN046
諸雑費（まるめ）	1	式			#99
小計	1	箇所			
A 規格・仕様 B 施工規模 D 夜間作業の有無 E 取付管長 F 本管材質	=3 =2 =1 =1 =3	管径 150mm 施工規模 5箇所未満 夜間作業（20時～6時）なし 取付管長補正なし 本管材質 コンクリート・陶製以外			
G 可とう性支管設置の有無	=2	可とう性支管設置あり			

施工単価表

当り

機械構成比：	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格 (東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 アスファルト舗装版 機械構成比： 労務構成比： 障害等なし			単価表 材料構成比： 市場単価構成比：	標準単価： 第0 -0021号施工単価 1 m 2 当り
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料			バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料	KQ049
土木一般世話役			土木一般世話役	RA125
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)	RA070
普通作業員			普通作業員	RA010
軽油 バトロール給油			軽油 バトロール給油	TSX24
積算単価			積算単価	EP001
小計				
A 舗装版種別	=1	アスファルト舗装版		
B 障害等の有無	=1	障害等なし		
C 騒音振動対策	=1	騒音振動対策不要		
D 舗装版厚	=1	15cm以下		
F 積込作業の有無	=1	積込作業あり		
G 豪雪割増	=1	豪雪割増 工種条件と同じ		
H 費用の内訳	=1	全ての費用		

舗装版切断 アスファルト舗装版 機械構成比： 労務構成比： 15cm以下			単価表 材料構成比： 市場単価構成比：	標準単価： 第0 -0022号施工単価 1 m 当り
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	MC448

施 工 単 価 表

前ページからの続き

当り

機械構成比：	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	備考
代表機材規格	構成比	単 価	代表機材規格 (東京地区)	単価(東京地区)	
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
普通作業員			普通作業員		RA010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)			ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)		TSD05
ガソリン レギュラー (スタンド)			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
小計					
A 舗装版種別 B アスファルト舗装版厚 E 豪雪割増 F 費用の内訳	=1 =1 =1 =1	アスファルト舗装版 15cm以下 豪雪割増 全ての費用	工種条件と同じ		

施 工 単 価 表

頁0-0034

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬工 SK035 運搬距離4km DID地区なし	10	m ³			第0-0023号施工
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル		日			SX110 第0-0006号施工単価表
計	10	m ³			
小計	1	m ³			
A ダンプトラック規格 B 積込機種 C 運搬状況による区分 D 運搬距離 (km) E タイヤ損耗費区分 (運搬路面状況)	=2 =3 =1 =4 =1	DID地区なし 運搬距離 (km) 運搬路面状況 良好			
F 豪雪割増	=1	豪雪割増 工種条件と同じ			

トラック2t積による公園外への運搬 SF070	1	台			第0-0024号施工
トラック運転 普通型		時間			SX120 第0-0025号施工単価表
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	台			
C 運搬距離 (km) D 豪雪割増	=14.1 =1	運搬距離 (km) 豪雪割増 工種条件と同じ			

施 工 単 価 表

頁0-0035

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック運転 SX120 普通型	1	時間			第0 -0025号施工
トラック [普通型]		時間			MA422
運転手 (一般)		人			RA075
軽油 パトロール給油		L			TSX24
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	時間			
A 規格	=2	普通型			
B 供用日当運転時間 (標準=省略)	=0	供用日当運転時間 (標準=省略)			
C 豪雪割増	=1	豪雪割増 工種条件と同じ			
D 一般運転手 (人/h) 標準=省略	=0	一般運転手 (人/h) 標準=省略			
E 軽油 (L/h) 標準=省略	=0	軽油 (L/h) 標準=省略			

施工単価表

当り

機械構成比：	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	備考
代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格 (東京地区)	単価(東京地区)	
SZD005 下層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚180mm 機械構成比： 労務構成比：	1層施工	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	第0-0026号施工単価 1 m 2 当り
モータグレーダ [土工用] 排ガス2014			モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		MC20P
ロードローラ [マカダム] 賃料			ロードローラ [マカダム] 賃料		KQ510
タイヤローラ賃料			タイヤローラ賃料		KQ617
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン (40-0) RC-40			クラッシャーラン C-40		TCF04
軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施 工 単 価 表

前ページからの続き

当り

代表機材規格	構成比	単 価	代表機材規格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
小計					
A 全仕上り厚(mm) B 施工区分 D 材料 E 豪雪割増 F 費用の内訳	=180 =1 =4 =1 =1	全仕上り厚(mm) 1層施工 再生グラック(40-0) 豪雪割増 工種条件と同じ 全ての費用			

SZD009	上層路盤 (車道・路肩部)			単価表	
機械構成比 : 労務構成比 :	全仕上り厚 110mm	材料構成比 :	市場単価構成比 :	標準単価 :	第0-0027号施工単価 1 m 2 当り
モータグレーダ [土工用] 排ガス2014			モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		MC20P
ロードローラ [マカダム] 賃料			ロードローラ [マカダム] 賃料		KQ510
タイヤローラ賃料			タイヤローラ賃料		KQ617
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施 工 単 価 表

前ページからの続き

当り

機械構成比： 代表機 労 材 規 格	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	備 考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
粒度調整碎石 (40-0) M-40			再生粒度調整碎石 RM-40		TCD20
軽油 バトロール給油			軽油 バトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
小計					
A 材料 D 全仕上り厚(mm) E 施工区分 H 材料(粒度調整碎石) J アスファルト混合物小型車割増 L 豪雪割増 M 費用の内訳	=2 =110 =1 =6 =1 =1 =1		粒度調整碎石・路盤材(各種) 全仕上り厚(mm) 1層施工 粒調碎石(40-0) 小型車割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 全ての費用		

SZD023	表層 (車道・路肩部)			単価表	
3.0m超 機械構成比： 労務構成比：	平均仕上り厚	40mm	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価： 第0-0028号施工単価 1 m 2 当り
アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料			アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		KQ687
タイヤローラ賃料			タイヤローラ賃料		KQ617
ロードローラ [マカダム] 賃料			ロードローラ [マカダム] 賃料		KQ510

施 工 単 価 表

前ページからの続き

当り

代表機労材規格	構成比	単 価	代表機労材規格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員			普通作業員		RA010
運転手(特殊)			運転手(特殊)		RA070
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生アスファルト混合物 再生密粒度(13)(20)			アスファルト混合物 密粒度(20)		TG146
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TG402
軽油 バトロール給油			軽油 バトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
小計					
A 平均幅員	=4	3.0m超			
B 1層当り平均仕上り厚(mm)	=40	1層当り平均仕上り厚(mm)			
C 標準締固め後密度	=1	2.35t/m3			
D 瀝青材料種類	=2	プライムコート			
E 材料	=13	再生密粒度(13)			
F 瀝青材料種類	=2	プライムコート PK-3			

施 工 単 価 表

前ページからの続き

当り

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格 (東京地区)	単価(東京地区)	備考
G アスファルト混合物小型車割増	=1	小型車割増なし			
H アスファルト混合物夜間割増	=1	夜間割増なし			
I 豪雪割増	=1	豪雪割増 工種条件と同じ			
J 費用の内訳	=1	全ての費用			

SZD001					第0 -0029号施工単価 1 m 2 当り
不陸整正			単価表		
補足材料なし 機械構成比： 労務構成比：		材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	
モータグレーダ [土工用] 排ガス2014			モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		MC20P
ロードローラ [マカダム] 賃料			ロードローラ [マカダム] 賃料		KQ510
タイヤローラ賃料			タイヤローラ賃料		KQ617
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
軽油 バトロール給油			軽油 バトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施 工 単 価 表

頁0-0042

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 SG301 溶融式（手動） 矢印・記号・文字 15cm換算	1,000	m			第0-0030号施工
区画線設置（溶融式・手動） 豪雪無 矢印等15cm換算 制約無 昼間 手間のみ	1,200.000	m			RR073
トラフィックペイント（溶融型） 3種1号 ビーズ含有量15～18% 白	684.000	kg			TF949
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	30.000	kg			TF967
接着用プライマー 区画線用	30.000	kg			TF971
軽油 パトロール給油		L			TSX24
諸雑費（率+まるめ）		%			#09
計	1,000	m			
小計	1	m			
A 施工区分 B 規格・仕様（溶融式） D 塗料規格（溶融式） F 塗布厚 G プライマー規格	=1 =13 =1 =1 =1	溶融式（手動） 矢印・記号・文字 15cm換算 ビーズ含有量15～18% 白 塗布厚 1.5mm アスファルト舗装用			
H 舗装種別 I 施工区間 J 夜間作業の有無 K 時間的制約の有無 L 豪雪割増	=1 =1 =1 =1 =1	排水性舗装でない場合 供用区間 夜間作業（20時～6時）なし 時間的制約なし 豪雪割増 工種条件と同じ			
M 塗料単価（円/kg） O 費用の内訳	= =1	塗料単価（円/kg） 全ての費用			

施 工 単 価 表

頁0-0043

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 SG301 溶融式(手動) 実線 45cm	1,000	m			第0-0031号施工
区画線設置(溶融式・手動) 豪雪無 実線45cm 制約無 昼間 手間のみ	1,000.000	m			RR019
トラフィックペイント(溶融型) 3種1号 ビーズ含有量15~18% 白	1,700.000	kg			TF949
ガラスビーズ JIS R 3301 1号	75.000	kg			TF967
接着用プライマー 区画線用	75.000	kg			TF971
軽油 パトロール給油		L			TSX24
諸雑費(率+まるめ)		%			#09
計	1,000	m			
小計	1	m			
A 施工区分 B 規格・仕様(溶融式) D 塗料規格(溶融式) F 塗布厚 G プライマー規格	=1 =4 =1 =1 =1	溶融式(手動) 実線 45cm ビーズ含有量15~18% 白 塗布厚 1.5mm アスファルト舗装用			
H 舗装種別 I 施工区間 J 夜間作業の有無 K 時間的制約の有無 L 豪雪割増	=1 =1 =1 =1 =1	排水性舗装でない場合 供用区間 夜間作業(20時~6時)なし 時間的制約なし 豪雪割増 工種条件と同じ			
M 塗料単価(円/kg) O 費用の内訳	= =1	塗料単価(円/kg) 全ての費用			

施 工 単 価 表

頁0-0044

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポンプ運転工[下水道] SK130 作業時排水 発動発電機 工事中水中ポンプ 1台	1	日			第0 -0032号施工
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
工事中水中モータポンプ [普通型] 作業時排水		日			MC805
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動]		日			MC903
諸雑費 (率+まるめ)		%			#09
小計	1	日			
A 排水方法 =1 作業時排水 B 使用電源 =2 発動発電機 C 工事中水中ポンプ台数 =1 工事中水中ポンプ 1台 D 豪雪割増 =1 豪雪割増 工種条件と同じ					

ポンプ据付・撤去工 SK135	1	現場			第0 -0033号施工
普通作業員		人			RA010
諸雑費 (まるめ)	1	式			#99
小計	1	現場			



位置図

施工箇所

